



大村秀章

おおむら ひであき
愛知・名古屋アジア・
アジアパラ競技大会
組織委員会会長
愛知県知事

世界の注目が集まる アジア最大の スポーツの祭典

2026年に、アジア競技大会・アジアパラ競技大会が愛知・名古屋で開催されます。この大会は4年に1度開催されるアジア最大のスポーツの祭典で、世界の注目が集まります。この大会以降、しばらく日本国内での国際的な総合スポーツ大会は予定がなく、その醍醐味を目の当たりにできる非常に貴重な機会となります。

アジア・アジアパラ競技大会の成功へ向けて

愛知・名古屋大会の開催による日本全体への経済波及効果は約2兆円と試算（2022年7月時点）されています。オリンピックに

匹敵する規模を持つアジア・アジアパラ競技大会を盛り上げ、その社会的、経済的なインパクトを日本全体に波及させ、スポーツの振興や国際交流の促進、共生社会の実現、交流人口の拡大や国際競争力の強化など、様々な効果を生み出し、愛知・名古屋のみならず、日本全体の成長に貢献したいと考えています。

アジア競技大会は、第2次世界大戦後まだ間もない1951年、戦禍によって引き裂かれたアジア諸国の絆をスポーツを通じて取り戻し、恒久平和に寄与したいとの願いを込め、日本を含む11カ国参加のもとインドで開催されました。日本での開催は、1958年東京、1994年広島に続き、32年ぶり3度目となります。大会期間は2026年9月19日～10月4日の16日間で、アジアの45カ国・地域から1万人を超える選手・大会関係者をお迎えします。実施競技は41競技でオリンピック（東京2020オリンピック）・パラリンピック（東京2020オリンピック）・パラリンピック競技大会（以下、東京2020大会）は33競技）より多く、セバタクロールやカバディなどアジア競技大会ならではの競技やeスポーツも実施します。アジアパラ競技大会は、アジア地域におけるパラリンピック・ムーブメントの推進とパラスポーツのさらなる発展を目的として開催される障害者の国際総合スポーツ大会です。1975年に日本の呼びかけで極



開会式（2023年杭州アジア競技大会）

東・南太平洋地域の身体障害者のスポーツ大会（フェスピック競技大会）として始まり、2010年に「アジアパラ競技大会」として引き継がれてから、日本では初の開催となります。大会期間は2026年10月18日～10月24日の7日間で、18競技（参考：東京2020大会は22競技）を実施します。これまでの大会で日本は多数のメダルを獲得しており、愛知・名古屋大会でも、日本選手の活躍が大いに期待される場所です。

持続可能な新たな 大会モデルを示す

愛知・名古屋アジア競技大会では、大会

のコンセプトとして「アスリートセンター」の視点」「既存施設の活用」「先端技術の駆使」「伝統と県民・市民性に触れるおもてなし」「アジア競技大会の開催を誇りに、さらなるスポーツ文化の普及へ貢献」の五つの項目を掲げています。

中でも「既存施設の活用」は本大会の重要なテーマです。会場は、愛知・名古屋のほか、東京、静岡、関西のスポーツ施設を活用し、広く全国で開催します。宿泊施設については、選手村の施設整備を行わず、既存ホテルの使用に加え、大規模なスポーツ大会では国内初の試みとして、クルーズ船を「ホテルシップ」として活用します。こうしたチャレンジや様々な工夫、努力を積み重ね、大会の質を保ちながら、簡素で合理的、持続可能性を有する、

新たな国際総合スポーツ大会のモデルを示していきたいと考えています。

また、愛知・名古屋アジアパラ競技大会では、アジア競技大会の五つのコンセプトに加え「共生社会の実現」を掲げています。パラ競技大会への関心は、東京2020大会以降、非常に高まっており、本大会を通じて、障害への理解促進や障害のある方の社会参加の促進等を図り、多様性を尊重し合う、社会的意義のある大会を目指してまいります。

パートナーシッププログラム 寄附金で協力をお願いします

アジア地域の成長は著しく、GDPは2020年に31兆4000億ドルと、この10年間で約1.88倍に増加しています。人口も2010年に40億人に到達し、2035年には50億人を超えることが予測されています。愛知・名古屋大会を契機に、プロスポーツはもとより、企業、クラブ、学生等、幅広い分野で成長を続けるアジア地域との交流を拡大し、その活力を日本経済へ波及させることが期待されます。

開幕まで残り2年を迎えようとしている今、大会を成功に導いていくためには、経済界の皆さまをはじめオールジャパンのご支援、ご協力が不可欠です。現在、パートナーシッププログラムを作成し、愛知・

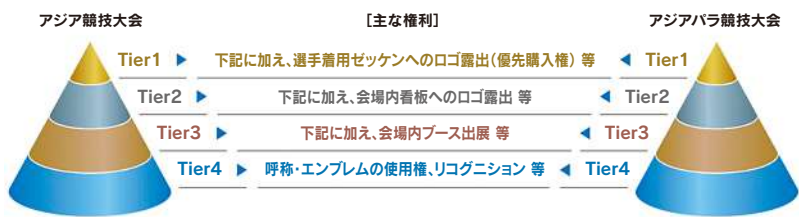
名古屋大会の成功に向けて、共に歩んでいただける企業を募集しています。

パートナーシップは四つの階層で構成され、ランクに応じて行使できる権利を設定しています（図表）。大会の呼称やシンボルマークの使用、企業ロゴの掲出のほかにも、新技術や新商品を国内外に向けて紹介する機会の提供など、様々なアクティビティの場の提供します。アジア各国からの需要の創出、新規顧客の獲得、販路拡大につながる好機であり、ぜひともパートナーとしてご参画いただき、一緒に大会を盛り上げていただくようお願い申し上げます。

また、大会支援のため寄附金の募集も行っています。組織委員会への「特定公益増進法人への寄附」や「指定寄附金（現在調整中）」、開催都市への寄附や「企業版ふるさと納税」といった制度をご活用いただけます。少しでも多くの皆さまから、ご賛同とご支援をいただけますよう、何卒、ご協力をお願いいたします。

大会スローガンである「IMAGINE ONE ASIA」の「Imagine One Heart」の通り、全ての人々が感動を共有し、スポーツを通じてひとつになる、素晴らしい大会にしてまいりたいと思っております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

図表 パートナーシッププログラムの構造



図表